

特殊シリンドラの南武 常州で南武油缸を披露 那賀博和氏もかけつけあいさつ

特殊シリンドラ大手の南武（野村和史社長）は、中国常州市武進区の高進技術開発区に完成させた新工場（現法名・南武油缸）を七月二十八日、関係者約二百名を招待し披露した。

新工場の建屋面積は、約二千八百平方メートルで、ヤマザキマザック製MC一台、NC四台を中心に、汎用旋盤八台、ボール型六台、フライス盤六台等、中子引き抜きシリンドラの生産に必要な一連の設備を設置、七月一日から本格生産を開始する。スタート時の従業員は三十名。日本から松本和樹総経理と野村正樹副総経理の二名が駐在、

他に技術支援で四名が出張ベースで対応する。

招待客二百名のうち日本人客は約四十名で、美諾精密圧鑄の那賀博和総経理もかけつけ、お祝いのスピーチを行なった。祝賀会冒頭の野村和史社長（現法董事長）のあいさつは次の通り。



あいさつする野村社長



開所式風景